

鶴翼

～広がる翼、世界へ、そして未来へ～

佐賀県立唐津東高等学校・佐賀県立唐津東中学校 学校通信〔総務部発行〕

外務省「高校講座」が行われました！

9月28日（金）に外務省から、首席事務官の木戸 大介ロベルトさんと日米外交間交流プログラムで日本に配属中のコーディ・ウォルシュさんのお二人にお越しいただき、高校講座を開講しました。講座では、外務省での仕事内容についてクイズを交えながら教えていただいたり、仕事の中で得た裏話などを話していただいたりしました。また放課後には、外務省や外国語を使った仕事に興味のある生徒との座談会にも出席していただきました。座談会では、生徒の質問1つ1つに対して丁寧に答えていただき、出席した生徒は興味の幅を広げることができたようです。



命の大切さを学ぶ教室

10月4日（木）には、「命の大切さを学ぶ教室」が開校されました。講師に大場茂彌さんをお招きし、「飲酒運転事故で娘を亡くした父親として」を演題にご講話いただきました。大場さんの娘さんは、夢を追いかけて大学に進学されたそうですが、飲酒運転をしていた対向車との衝突事故によって亡くなりました。現在大場さんは、夢が半ばだった娘さんの分も生きようと、糸島でみかんの栽培に力を入れているそうです。この講話を通して、被害者にも加害者にもなり得る飲酒運転の怖さと今を懸命に生きることの大切さを学ぶことができました。

環境ボランティア

10月18日（木）に全校生徒によるボランティアを実施しました。本校は、虹の松原や鏡山、松浦川などの自然に恵まれており、このような地域への貢献の一環として、学校周辺地域の清掃奉仕活動を行っています。今回は、全校生徒で虹の松原・校地周辺・登校道路・校内の植込みなどの清掃活動に取り組みました。この活動を通して、地域への貢献と学習・生活環境の美化及びボランティア精神を高めることができました。



芸術鑑賞会

10月24日（水）の午前に中学生、午後に高校生が鑑賞しました。今年の芸術鑑賞会は、「学校寄席」で、笑福亭岐代松さん・三遊亭円馬さん・柳家小太郎さん・三増紋之助さんによる2部構成でした。鑑賞会では、落語を鑑賞するときのマナーを教えてください、寄席入門があり、落語を二題と色物（曲ごま）、上方落語を一題鑑賞しました。落語の落ちの部分で笑いが起きたり、生徒も参加した色物では技が決まると大きな歓声が上がったりしていました。落語を初めてみた生徒も多いようでしたが、「イメージしていたものより面白くまたみたいと思った」という声も多くきかれ、日本の伝統芸能に触れる大変貴重な機会となりました。



< お知らせ >

本校の教育目標、学校評価計画の結果等は、本校のホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。